



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会
2019 年度 (2019.1.1 – 12.31) 事業報告書

2019 年度も台風等による豪雨災害が広範囲に発生し、新年を越えてもなお各地で復旧・復興への取り組みが進められている。明らかな気候変動による自然災害を毎年のように経験し、非常事態がすでに常態化してきていると感じる時代になった。同時に、大きな災害が起きるたびに、被災地域に「ボランティア」が駆けつけ、復旧を助けるための活動を行い、力を発揮している。広域にわたる被害に NHK は 10 月の報道で「ボランティア不足」という言葉を使って活動を喚起した。実際、災害ボランティアセンターの運営者からも「ボランティアがまだまだ足りない」という声を聞いた。しかし、暮らしのなかで起きる問題の多くが自己責任とされ、自助努力の範疇を越えたら「ボランティア」の助けを、という風潮が年々強くなってきてはいないか。公的責任があいまいになり、一方で膨らむボランティアへの期待は“誰からの期待なのか”。ボランティアのパワーと重要性を再認識しつつも、ボランティアをめぐる論調に違和感を覚えることの多い 1 年だった。

重点 1 第 4 期中期ビジョンの策定

変化する時代のなかで、現在の社会的な課題やトレンドを押さえ、中長期的な展望を持って新たなビジョンを策定することを目指した。第 4 期中期ビジョン策定プロジェクトチームが作成した素案をもとに運営委員会、理事会において審議し、創設以来のミッションを変更することを含んだビジョン案を作成した。2020 年度通常総会の審議事項として上程する。

重点 2 ボランティアコーディネーション力検定の拡大と、グッドプラクティス認定システムの確立

ボランティアコーディネーション力 3 級検定については、合格者が 5,000 人を突破した。年間目標の 600 人を超える受験者を確保し、共催検定は目標の 8 回を超える 9 か所で実現した。2019 年は東京・大阪をはじめ、山形・宮城・栃木・群馬・長野・岐阜、京都、島根での開催となり、全国の幅広い地域で開催することができた。1・2 級検定については人数が伸びず、とりわけ 2 級は開催箇所数を増やしたにもかかわらず、受験者が低迷した。

ボランティアコーディネーション力が発揮されたグッドプラクティスを試行的に募集し、認定システム化委員会の審議により 5 件の実践事例を内定した。

重点 3 ボランティアコーディネーション力を高めるための多様な研修機会の提供

I C T を活用した人材育成に取り組む企業とタイアップし、ボランティアコーディネーター基礎研修のうち 2 コースについて e 講義動画を作成した（販売は 2020 年度）。

講師派遣は年間目標の 100 件を超え、収入ベースでも目標金額を達成した。経年の課題である実務者研修の体系化については、第 4 期中期ビジョンの事業展開の方針を待って協議を始めることとした。

■ 1 事業の推進

(1) 全国ボランティアコーディネーター研究集会の開催

①「全国ボランティアコーディネーター研究集会 2019 京都」の開催及び評価

大谷大学、特定非営利活動法人ユースビジョンの協力により、京都市内において全国ボランティアコーディネーター研究集会（J V C C）2019 を開催した。プログラムの企画・立案については京都府内及び周辺のボランティアコーディネーション実践者で構成する実行委員会が行った。

（実行委員長：志藤修史氏）

テーマ： ボランティアはコマじゃない ～今こそレジリエンス（しなやかさ したたかさ）が試される～

期 日：2019 年 3 月 2 日（土） - 3 日（日）

会 場：大谷大学

分科会：21 分科会

参加者：269 人

実行委員：38 人

運営協力者：4 人

運営ボランティア：33 人

講師・事例報告者等：延べ 71 人

（実行委員との重複あり）



実行委員会風景→

↓ 受 付

クロージング→



実行委員会開催状況

回	期 日	会 場	参加人数
第 9 回	1 月 27 日（日）	大谷大学	21 人
第 10 回	2 月 10 日（日）	大谷大学	24 人
第 11 回	3 月 21 日（木・祝）	キャンパスプラザ京都	18 人

②「全国ボランティアコーディネーター研究集会 2020 東京」の準備

全国ボランティアコーディネーター研究集会（JVCC）を国立オリンピック記念青少年総合センター（東京）において開催することが決定した。プログラムの企画・立案については関東圏のボランティアコーディネーション実践者・関係者で構成する実行委員会を設置し、会議を開催している。第1回実行委員会では、村上徹也氏（国立青少年教育推進機構・青少年教育研究センター長/市民社会コンサルタント）を実行委員長に選任した。

実行委員会開催状況

回	期 日	会 場	参加人数
準備会	4月12日（金）	JVCC事務所	6人
第1回	6月15日（土）	国立オリンピック記念青少年総合センター	33人
第2回	7月15日（祝・月）	飯田橋セントラルプラザ	39人
第3回	8月25日（日）	国立オリンピック記念青少年総合センター	29人
第4回	9月29日（日）	国立オリンピック記念青少年総合センター	26人
第5回	10月20日（日）	飯田橋セントラルプラザ	29人
第6回	11月10日（日）	国立オリンピック記念青少年総合センター	36人
第7回	11月17日（日）	飯田橋セントラルプラザ	18人
第8回	12月1日（日）	国立オリンピック記念青少年総合センター	28人

（２）研修の開催および研修企画の支援

①各種研修セミナーの開催

・初任者向け：ボランティアコーディネーター基礎研修 2回（大阪・東京）

タイトル	期日・会場	講 師	参加者
ボランティアコーディネーター基礎研修 （東京会場）	6月13日（木） ルーテル市ヶ谷センター）	唐木理恵子 倉本 泰孝 後藤麻理子	47人
第45期 ボランティアコーディネーター養成講座 （大阪ボランティア協会共催）	8月 3日（土） 大阪府社会福祉会館	青山 織衣 岩本 裕子 新堀 春輔	55人

・実践者向け：ボランティアコーディネーター実務研修 2回

タイトル	期日・会場	講 師	参加者
ボランティアコーディネーター実務者研修Ⅰ （東京）	11月18日（月） ルーテル市ヶ谷センター	加留部貴行	16人
ボランティアコーディネーター実務者研修Ⅱ （東京）	12月16日（月） 東京都生協連会館	加留部貴行	13人

②研修への講師派遣と講座等の企画支援

- ・研修への講師派遣を希望する団体に対し、開催の目的やねらい、テーマ等を調整したうえで、ＪＶＣＡの理事・役員等を派遣した。

派遣 107 件 研修日数 129 日 ／ 派遣講師 24 人（実人数）

※講師派遣事業実績一覧参照

- ・講師派遣事業拡大のために「講師派遣・紹介のご案内」、研修メニュー、講師リストを WEB サイトに掲載している。

③東日本大震災・被災地の復興に向けたコーディネーション力の強化と人材育成

- ・福島県市町村社会福祉協議会生活支援相談員等に対する新任研修への講師派遣を行った。

（３）ボランティアコーディネーション力検定の実施、認定システムの開発

①ボランティアコーディネーション力 1 級検定試験の実施 1 回

本年度第 1 回（通算第 7 回）ボランティアコーディネーション力 1 級検定の直前研修を開催するとともに、別日程で 1 級検定試験を東京と大阪の 2 会場で実施した。

開催地・会場	期 日	講師・試験監督	受験者
<第 1 回> 大学生協杉並会館 (東京)	7 月 13 日（土） ～7 月 14 日（日） 直前研修	早瀬 昇、小原 宗一、 岩井 俊宗、上田 英司、 後藤麻理子	17 人
【東京】 大学生協杉並会館	7 月 28 日（日） 試験	<試験監督> 小原 宗一、疋田 恵子、 岩井 俊宗、永井 美佳、 垂井加寿恵、竹田 純子、 後藤麻理子	8 人
【大阪】 エル大阪			8 人

<第 1 回（通算第 7 回） 1 級検定 試験結果>

受験者数	16 人
合格者数	11 人
合格率	68.8%

②ボランティアコーディネーションカ 2 級検定試験の実施 2 回×2 か所

長野で初めての 2 級検定を開催した（共催：長野市社会福祉協議会／協力：長野県社会福祉協議会）。2 回×2 か所での開催を試みたが、参加者が分散した傾向があり、いずれの会場も定員に達せず、とくに第 1 回の長野・大阪は定員を大幅に下回る結果となった。

開催地・会場	期 日	講 師	受験者
<第 1 回> 通算 19 回 長野・大阪	9 月 7 日－8 日 (土・日)	【長野】 小原宗一、正田恵子、 栗木梨衣	17 人
		【大阪】 早瀬 昇、後藤麻理子、 筒井のり子、新堀春輔	21 人
<第 2 回> 通算 20 回 東京・福岡	10 月 5 日－6 日 (土・日)	【東京】 小原宗一、正田恵子、 後藤麻理子、栗木梨衣	39 人
		【福岡】 早瀬 昇、竹田純子、 新堀春輔	28 人

試験結果	第 1 回		第 2 回		合計
	長野	大阪	東京	福岡	
受験者数	17 人	21 人	39 人	28 人	105 人
合格者数	11 人	17 人	26 人	21 人	75 人
合格率	64.7%	81.0%	66.7%	75.0%	71.4%

③ボランティアコーディネーションカ 3 級検定試験の実施 2 回（主催）

<第 1 回検定の実施> （通算第 27 回）

開催地・会場	期 日	講 師	受験者
東京会場 ：飯田橋セントラルプラザ <共催：東京ボランティア・市民活動センター>	6 月 29 日（土） ・直前研修 ・検定試験	阿南 健太郎 矢島 万理	49 人
大阪会場 ：大阪府社会福祉会館 <研修共催：大阪ボランティア協会>		岡村 こず恵 青山 織衣	61 人

<第 2 回検定の実施> （通算第 28 回）

開催地・会場	期 日	講 師	受験者
宮城会場 ：江陽グランドホテル	12 月 8 日（日） ・直前研修 ・検定試験	唐木 理恵子 後藤 麻理子	34 人
東京会場 ：飯田橋セントラルプラザ <後援：東京ボランティア・市民活動センター>		三田 響子 鹿住 貴之	54 人
大阪会場 ：大阪府社会福祉会館 <研修共催：大阪ボランティア協会>		杉浦 健 永井 美佳	52 人

試験結果	第 1 回		第 2 回			合計
	東京	大阪	仙台	東京	大阪	
受験者数	49 人	61 人	34 人	54 人	52 人	250 人
合格者数	43 人	58 人	27 人	47 人	46 人	221 人
合格率	87.8%	95.1%	79.4%	87.0%	88.5%	88.4%

<共催検定> (計画 8 回／実施 9 回)

共催団体	期 日	講 師	受験者
①東京都社会福祉協議会 東京ボランティア・市民活動センター	6 月 29 日 (土) ※東京の主催検定と合体	阿南 健太郎 矢島 万理	44 人
②長野県社会福祉協議会	6 月 29 日 (土)	筒井 のり子	39 人
③東北公益文科大学	9 月 1 4 日 (土)	唐木 理恵子	47 人
④藤岡市社会福祉協議会		土崎 雄祐	28 人
⑤龍谷大学	9 月 2 8 日 (土)	筒井 のり子	41 人
⑤島根県社会福祉協議会	1 1 月 1 6 日 (土)	上田 英司	37 人
⑦とちぎ Y M C A		唐木 理恵子 土崎 雄祐	82 人
⑧長野県長寿社会開発センター佐久支部	11 月 2 3 日 (土・祝)	筒井 のり子	33 人
⑨首都大学東京	1 2 月 2 1 日 (土)	三田 響子 後藤 麻理子	31 人

試験 結果	共催検定									
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	計
受験者	44 人	39 人	47 人	28 人	41 人	37 人	82 人	33 人	31 人	382 人
合格者	42 人	37 人	46 人	23 人	38 人	29 人	54 人	25 人	30 人	324 人
合格率	95.5%	94.9%	97.9%	82.1%	92.7%	78.4%	65.9%	75.8%	96.8%	84.8%

④ボランティアコーディネーション力検定試験委員会の運営

・ボランティアコーディネーション力検定試験委員会 ◎委員長 ○副委員長 ☆各級チームリーダー

No	委員名	所 属	担当
◎ 1	妻鹿ふみ子	東海大学	総括
☆ 2	小原 宗一	北区社会福祉協議会	1 級
3	疋田 恵子	杉並区社会福祉協議会	1 級
4	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク	1 級
5	上田 英司	日本 NPO センター	1 級
6	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会	1 級
○☆ 7	栗木 梨衣		2 級
8	公文真理亜	北九州市社会福祉協議会	2 級
9	竹田 純子	龍谷大学 ボランティア・NPO 活動センター	2 級
10	垂井 加寿恵	神戸学院大学 ボランティア活動支援室	2 級
11	赤澤 清孝	ユースビジョン	2 級
12	濱屋 伸子	京都市国際交流協会	2 級
13	新堀 春輔	京都市環境保全活動推進協会	2 級
☆14	加留部貴行	九州大学	3 級
15	唐木理恵子	日本ボランティアコーディネーター協会	3 級
16	土崎 雄祐	とちぎ市民協働研究会	3 級
17	足立 陽子	首都大学東京 ボランティアセンター	3 級
18	三田 響子	相模原市社会福祉協議会	3 級

・各級チームミーティングの開催

1 級検定チーム	期 日	会 場	参加人数
第 1 回	6 月 10 日 (月)	J V C A 事務所	5 人
採 点	8 月 12 日 (祝・月)	J V C A 事務所	5 人

2 級検定チーム	期 日	会 場	参加人数
第 1 回	6 月 1 日 (土)	京エコロジーセンター	6 人
第 2 回	7 月 6 日 (土)	ユースビジョン事務所	4 人
第 3 回	8 月 10 日 (土)	京エコロジーセンター	6 人
第 4 回	8 月 31 日 (土)	京エコロジーセンター	7 人

3級検定チーム	期 日	会 場	参加人数
第1回	1月14日（月・祝）	J V C A事務所	5人
第2回	4月 6日（土）	J V C A事務所	5人
採 点	7月 4日（木）	J V C A事務所	2人+検定事務局
第3回	8月 6日（火）	J V C A事務所	5人
採 点	9月26日（木）	J V C A事務所	2人+検定事務局
採 点	10月 3日（木）	J V C A事務所	3人+検定事務局
第4回	10月22日（祝）	J V C A事務所	3人
採 点	11月30日（土）	J V C A事務所	2人+検定事務局
採 点	12月13日（金）	J V C A事務所	1人+検定事務局

⑤『ボランティアコーディネーションカ1級検定テキスト』の送付

⇒1級検定テキストを一部修正のうえ増刷し、検定受験者へ送付した。（5月～）

⑥『ボランティアコーディネーションカ2級検定サブテキスト』の送付

⇒2級検定サブテキストを一部修正のうえ増刷し、検定受験者へ送付した。（5月～）

⑦1級・2級検定合格者フォローアップ企画の開催

・全国ボランティアコーディネーター研究集会 2019 の前日企画として、「ボランティアコーディネーションカ検定1・2級合格者の集い」を企画し、実施した。

タイトル	期日・会場	ホスト・企画	参加者
ボランティアコーディネーションカ 1・2級検定合格者の集い ＜縁結び・お結びパーティ＞	3月1日（金） 19:00～21:30 ユースビジョン（京都市）	長谷部 治 竹田 純子 永井 美佳	31人

⑧検定合格者（3級・2級）に対するメールマガジンの提供（各級 年2回配信計画）

検定合格者向けプロジェクトチームは解散し、メールマガジンとしての提供（送信）は終了した。
※事務局より送信する検定開催に関するお知らせメールに変更した

⑨検定事業のPR（受験者拡大、共催団体の開拓）：検定プロモーションプロジェクトチーム担当

・検定PRチラシ（裏面は講師派遣案内）を作成し、関係機関や、イベントで配付した。

⑩検定合格を祝い合う会：検定プロモーションプロジェクトチーム担当

・検定合格を祝い合う会@岐阜

日 時：2019年12月5日（木）19:15～21:30

会 場：しゃぶ里 Burassai（個室）

参加者：7名（3級合格者（2名）+2級合格者（3名）、ゲスト：加留部貴行／呼びかけ人：清水由子）

(4) 情報の収集及び提供活動の推進

① メールマガジン（会員向け）の発行（月1回程度）

めるまが Co★Co★Net 第164号～第173号の発信（10回）

② JVCA 公式 facebook の運営

WEB 委員会と事務局を中心に、活動を紹介する記事を掲載した。

③ JVCA 事業説明・会員勧誘チラシの増刷 ⇒2回（計2,400部）

④ WEB サイトの充実 ⇒WEBサイトの定期的なメンテナンスを行った。

⑤ ボランティアコーディネーションに関する図書・文献情報の収集 ⇒寄贈あり

⑥ 雑誌・新聞などへの掲載・寄稿 など ⇒研修取材記事あり

⑦ 個別相談への対応

・会員メーリングリストによる会員相互の相談助言活動の促進

悩み相談、意見発信、問題提起、情報交換など、会員メーリングリストに寄せられる相談を通して会員同士のコミュニケーションを促進した。

会員メーリングリスト利用件数 118件

・事務局に入った相談・問い合わせ（Eメール、電話、来所など）に対応した。

⑧ ボランティアコーディネーションについての普及啓発

・JVCA の PR、ボランティアコーディネーター基本指針、ご存知ですか？ボランティアコーディネーター（ポスター）の配付など、通常の情報提供を継続している。

(5) 広報紙および出版物の発行

① ニュースレター『Co★Co★Net』の発行 年3回（発行月：4月、8月、12月）

Co★Co★Net 第56号

特集：いよいよ始動「グッド・プラクティス」認定

4月25日発行 500部

Co★Co★Net 第57号

特集：Tribute to Susan! ～信念の人スーザンから JVCA が学んだもの～

8月25日発行 500部

Co★Co★Net 第58号

特集：“今どきの若者”は禁句ですよ！

～「大学生×ボランティア」に詳しい会員に聞きました～

12月7日発行 500部

再掲②ボランティアコーディネーションカ 1 級検定テキストの発行（一部修正）

B 5 判 131 ページ 50 部 5 月 15 日発行

再掲③ボランティアコーディネーションカ 2 級検定サブテキストの発行（一部修正）

B 5 判 160 ページ 160 部 5 月 25 日発行

（6）調査・研究活動の推進

①実務者向けボランティアコーディネーター研修体系の検討 ⇒開催なし

②ボランティアコーディネーションカ検定直前研修のプログラム開発と運営

ボランティアコーディネーションカ検定の直前研修のプログラムを改善し、使用する事例やワークシートを作成するために、検定研修委員会を設置した。

・「検定研修委員会」の設置

No	委員名	所 属
1	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク
2	小原 宗一	北区社会福祉協議会
3	加留部貴行	九州大学大学院
4	栗木 梨衣	
5	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会
6	竹田 純子	龍谷大学 ボランティア・NPO活動センター
7	筒井 のり子	龍谷大学
8	早 瀬 昇	大阪ボランティア協会
9	疋田 恵子	杉並区社会福祉協議会

<委員会の開催>

回	期 日	会 場	参加人数
第 1 回	6 月 17 日（月）	J V C A 事務所	6 人
第 2 回	10 月 22 日（祝）	J V C A 事務所	6 人

③グッドプラクティス認定システム化委員会の設置

優れたボランティアコーディネーション実践を認定するシステムを構築するために委員会を設置した。

・「グッドプラクティス認定システム化委員会」の設置

No	委員名	所 属
1	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク
2	上田 英司	日本 NPO センター
3	小原 宗一	北区社会福祉協議会
4	妻鹿ふみ子	東海大学
5	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会

<委員会の開催>

回	期 日	会 場	参加人数
第 1 回 (通算 4 回)	6 月 11 日 (火)	J V C A 事務所	4 人
第 2 回 (通算 5 回)	9 月 27 日 (金)	J V C A 事務所	5 人

・グッドプラクティス事例の募集

募集対象 ① J V C A 会員

② ボランティアコーディネーションカ 1 級・2 級合格者

③ J V C A 理事・運営委員等が推薦する団体・人

募集期間 2019 年 4 月 18 日 (木) ～ 5 月 31 日 (金) 応募 10 件 (情報提供含む)

(7) ボランティアコーディネーターの交流の促進

① エリアメイトとの協働

地域プロモーション委員会ではエリアメイトと連絡を取り、それぞれの応募動機や活動ニーズを聞き取り、以下の事業を行った。

■ エリアアクション 02 『ICT×ボランティア～疑似体験や ICT 機器体験で障がい理解を深める～』

(協力エリアメイト：相澤 満さん)

期日：1 月 26 日 (土) 訪問先：八王子生活実習所 (八王子市) 参加者：22 人

■ エリアアクション 03 「大学ボランティアセンター訪問」

(協力エリアメイト：山口 由美子さん)

期日：5 月 16 日 (木) 訪問先：西南学院大学 (福岡市) 参加者：10 人

■ エリアアクション 04 「NICE のボランティアコーディネーションのヒミツ」

(協力運営委員：直井 友樹さん)

期日：11 月 17 日 (日) 訪問先：国際ワークキャンプセンター NICE (東京都) 参加者：7 人

② C o C o サロンの開催・運営支援

・C o C o サロンの開催状況

No	開催日	サロン名	会場	参加者	テーマ
1	1 月 12 日 (土)	CoCo サロン in 関西	市民活動スクエア 「CANVAS 谷町」	22 人	神戸市兵庫区社協の長谷部治さん、 岸和田市社協の青山織衣さんをゲスト に、災害ボランティアコーディネーションに ついての勉強会と新年会を実施した。
2	2 月 9 日 (土)	CoCo サロン たかさき	M's カレント	3 人	地域で「コーディネーター」として活躍して いる仲間の新しい出会いとつながりをつく るために実施した。

3	1月30日 (水)	CoCo サロン 庄内	楽家(らくや)	4人	新年の抱負を語る 2019 New year talk! 今年の抱負を語りあい、それぞ れの活動状況などを情報交換した。
4	1月30日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	北九州あゆみの 里通所施設	9人	通所施設とボランティアの関わりにつ いて、グループホームの地域との関わりにつ いて話し合った。
5	3月9日 (土)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	小倉南障害者地 域活動センター	28人	石井祐理子さんを講師に、ボランティア を受け入れる…原点を確認しつつ、これ からの方向について話し合った。
6	3月17日 (日)	CoCo サロン 岐阜	円相クラウド (アクティブ G 2階)	12人	運営委員会終了後に全国の運営委員 と地元会員とは顔を合わせ、懇親を行っ た。
7	3月27日 (水)	CoCo サロン 庄内	楽家(らくや)	5人	参加者全員が交代でファシリテーシ ョンのグラフィッカーを経験し、お互いのスキル を高め合った。
8	4月12日 (金)	CoCo サロン 庄内	楽家(らくや)	14人	加留部貴行さんを囲んで「ファシリテー ション」「コーディネーション」の極意を学ん だ。
9	4月13日 (土)	CoCo サロン 福井	わらび別邸	7人	大阪から椎名保友さんが参加し JVCA や JVCC の報告。住民自治や公民館 活動の現場にも V コーディネーションの 視点を取り入れることを確認しあった。
10	5月24日 (金)	スーザン・エリス さん追悼 CoCo サロン	東京文化会館	16人	今年2月に亡くなられたスーザン・エリス さんを偲び、改めて彼女の理論と実践を 再考した。
11	5月29日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン 研究所	9人	年度のはじめにあたりボランティアについて 改めて考える場とした。有償サービスとの 違いなどについても意見交換した。
12	5月29日 (水)	CoCo サロン 庄内	楽家(らくや)	5人	あらためて「ふりかえり」をふりかえってみる ために、具体的な経験を出し合って確 認し合った。
13	6月15日 (土)	CoCo サロン 長岡	たこの壺	5人	ボランティア活動ビフォー・アフターと題し、 ボランティア活動前後での様々な変化に ついて話し合った。
14	6月17日 (月)	CoCo サロン 長野	千歳夜咄 (松本市内)	8人	加留部貴行さんを囲んで「ファシリテー ションの極意」を学び、後半は参加者相互 の懇親を深めた。
15	6月29日 (土)	CoCo サロン 長野	しまんりょ pod (長野市内)	15人	筒井のり子さんを囲んでの参加者の近 況とコーディネーションの課題について話 し合った。
16	7月15日 (祝)	CoCo サロン 庄内	楽家(らくや)	13人	加留部貴行さん招き、参加者 12 人か らの「12 のお題」に次々とアドバイスや一 言をいただいた。

17	7月31日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン 研究所	7人	本来の目的と活動実態が乖離している グループの相談を事例に、コーディネー ターの関り方について意見交換した。
18	9月11日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン 研究所	6人	「改めて、ボランティアとは??」と題し みなさんが普段から感じていることを出し 合い、話し合った。
19	8月17日 (土)	CoCo サロン 仙台	地酒と旬味 東家	7人	仙台でのエリアアクション開催の打ちわか せを兼ねて、関係者が集い、情報交換 を行った。
20	9月14日 (土)	CoCo サロン 庄内	楽家(らくや)	9人	3級検定(共催)の終了後に講師の 唐木理恵子さんを囲んで、コーディネー ションについて語り合った。
21	9月14日 (土)	CoCo サロン 藤岡	Restaurant Café Arne Sonanza	6人	3級検定(共催)の終了後に開催 し、自己紹介や受講のきっかけなどを聞 きながら、語り合った。
22	9月20日 (金)	CoCo サロン 愛媛	愛媛県松山市男 女共同参画推進 センター	7人	学びたいキーワードを出し合い、加留部 貴行さんにファシリテーションの話を織り 交ぜながらコメントいただいた。
23	10月30日 (水)	CoCo サロン 庄内	楽家(らくや)	4人	あなたが考える「ボランティア」とは?と題 し、あらめて「ボランティア」のとらえ方につ いて対話した。
24	10月30日 (水)	CoCo サロン 徳島	活魚水産 徳島駅前店	10人	徳島県のエリアメイトと地域プロモーショ ン委員会メンバーの顔合わせと情報交 換を兼ねて、開催した。
25	11月20日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン 研究所	5人	7月の経過報告を受けグループの運営 や活動者の意欲維持にもコーディネータ ーの介入が有効と確認された。

③国内外の関係団体との連携

関係団体とボランティアコーディネーションの普及促進に関連する事業に後援ならびに協力し、連携を深めた。

- ・「広がれボランティアの輪」連絡会議への参加
 - 幹事会への参加
 - 提言プロジェクトチームへの参加
 - ボランティア全国フォーラムの企画参加
- ・東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)への参加
- ・他団体が実施(主催)する委員会等への協力、参加(委員委嘱)
 - i) 東京都中央区地域振興課: 中央区協働推進会議 委員
 - ii) 全国社会福祉協議会: 全国ボランティア・市民活動振興センター運営委員会
 - iii) 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(支援P) 委員
 - iv) チャリティホワイト新規プロジェクト: 選出委員

- v) 東京ボランティア・市民活動センター：中間支援組織スタッフの支援力アップ塾企画・評価委員
- vi) シャプラニール＝市民による海外協力の会：理事
- vii) 厚生労働省委託 ボランティア休暇・ボランティア活動普及広報事業：検討委員

・楽天株式会社×日本 NPO センター：楽天ミニ・ボランティアプログラムへの参加

・後援（名義使用の許可）

- i) 日本精神保健福祉士協会全国大会／日本精神保健福祉士学会学術集会：日本精神保健福祉士協会
- ii) ファンドレイジング日本 2019：日本ファンドレイジング協会
- iii) 第 6 回年次大会@愛知：全国コミュニティ財団協会

④災害緊急対応

台風 19 号による被害に対する支援として以下の 2 件の活動を実施した。

- i) 長野の被災者支援拠点（災害ボランティア委員会）でボランティアコーディネーターとして活動
長野県の会員から JVCA へのボランティアコーディネート強化のための応援要請を受けて、元運営委員の小林政夫さんが長野市社会福祉協議会を拠点に活動した。（30 日間）
この経費については、災害ボランティア・NPO サポート募金に申請した。

長野市ふれあい福祉センターのフリースペースで活動↓



- ii) ボランティアバス「協同組合号」に同行

日本生活協同組合連合会（日本生協連）から、「日本生協連として初めてボラバスを出すので JVCA からボランティアコーディネーターとして同乗して欲しいか」との依頼を受け、本会の運営委員の疋田恵子さんが同乗した。（1 日）

■ 2 組織運営と財政

(1) 通常総会

開催日 2019年3月3日(日)
 会場 大谷大学 講堂
 正会員数 343人
 定足数 172人
 出席者数 210人(会場45人、意思表示77人、委任88人)
 審議結果 第1号議案 2018年度事業報告ならびに決算案について
 第2号議案 2019年度事業計画ならびに予算案について
 —提出した議案はすべて承認された。

(2) 理事会

第10期 特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 理事名簿
 (2018年4月1日～2020年3月31日)

No.	氏名	所属先	地域
1	青山 織衣	岸和田市社会福祉協議会	大阪府
2	赤澤 清孝	特定非営利活動法人ユースビジョン	京都府
3	石原 達也	特定非営利活動法人岡山 NPO センター	岡山県
4	上田 英司	特定非営利活動法人日本 NPO センター	東京都
5	小原 宗一	北区社会福祉協議会	東京都
6	唐木 理恵子	紬ワークス	東京都
7	加留部 貴行	九州大学大学院	福岡県
8	栗木 梨衣		愛知県
9	後藤 麻理子	特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会	東京都
10	斉藤 悦子	病院ボランティアコーディネーター研究会	北海道
11	筒井 のり子	龍谷大学	滋賀県
12	西川 正	特定非営利活動法人ハンズオン! 埼玉	埼玉県
13	野尻 紀恵	日本福祉大学	愛知県
14	早瀬 昇	社会福祉法人大阪ボランティア協会	大阪府
15	矢島 万理	公益社団法人国土緑化推進機構	東京都

理事会の開催（計画：4回）

回	日 程	会 場	出席	審議事項
第 66 回	2 月 3 日 (日)	龍谷大学 大阪梅田キャンパス	15 人	第 1 号議案 2018 年度 事業報告 および決算案について 第 2 号議案 2019 年度 事業計画 および予算案について 第 3 号議案 2019 年度運営委員選考 委員の選出について
第 67 回	4 月 7 日 (日)	東京都生協連会館	15 人	第 1 号議案 2019 年度グッドプラクティス 事例の募集開始について（ト ライアル）
第 68 回	8 月 11 日 (日)	キャンパスプラザ京都	15 人	第 1 号議案 2019 年度上半期執行状 況について 第 2 号議案 第 4 期中期ビジョン案につ いて（途中段階）
第 69 回	12 月 15 日 (日)	東京都生協連会館	15 人	第 1 号議案 第 4 期中期ビジョン案につ いて 第 2 号議案 2020 年度事業計画および 暫定予算案について 第 3 号議案 ボランティアコーディネーシ ョン力検定試験委員会要項の 改訂および 2020 年度ボラ ンティアコーディネーシ ョン力 検定試験委員の任命につ いて 第 4 号議案 グッドプラクティスの認定につ いて 第 5 号議案 2019 年度職員賞与と役付 手当の取り扱いについて 第 6 号議案 2020 年度職員給与と役付 手当の取り扱いについて

（3）監事監査

2018 年度の事業執行についての監事監査を実施した。

日時 2019 年 2 月 2 日（土） 場所 J V C A 事務所

監 事

No.	氏 名	所 属	地域
1	安藤 雄太	東京ボランティア・市民活動センターアドバイザー	東京
2	内野 恵美	内野公認会計士事務所	東京

(4) 委員会

①運営委員会の設置 (計画：月1回・12回)

2019年度運営委員体制 (2019.4-2020.3)

◎委員長 ○副委員長

NO	氏名	地域	所 属
1	岩浪 武司	山形	特定非営利活動法人ぼらんたす
2	栗原 穂子	山形	特定非営利活動法人ぼらんたす
3	土崎 雄祐	栃木	一般社団法人とちぎ市民協働研究会
4	藤久保 誠	栃木	特定非営利活動法人ま・わ・た
◎ 5	鹿住 貴之	東京	認定特定非営利活動法人 JUON (樹恩) NETWORK
6	唐木理恵子	東京	紬ワークス
7	熊谷 紀良	東京	東京都社会福祉協議会
8	後藤麻理子	東京	特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会
9	高橋 義博	東京	府中市市民活動センタープラッツ
10	直井 友樹	東京	特定非営利活動法人 NICE (日本国際ワークキャンプセンター)
○ 11	疋田 恵子	東京	杉並区社会福祉協議会
12	武藤 祐子	東京	千代田区社会福祉協議会
13	三田 響子	神奈川	相模原市社会福祉協議会
14	竹脇 恵美	長野	公益財団法人長野県長寿社会開発センター木曽支部
15	佐藤 匠	愛知	至学館大学
16	清水 由子	岐阜	公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団
17	國實 紗登美	滋賀	龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター
18	筒井のり子	滋賀	龍谷大学
19	橋詰 勝代	滋賀	高島市社会福祉協議会
20	椎名 保友	大阪	特定非営利活動法人日常生活支援ネットワーク
21	早瀬 昇	大阪	社会福祉法人大阪ボランティア協会
22	椋木 美緒	大阪	社会福祉法人大阪ボランティア協会
○ 23	杉浦 健	兵庫	共働プラットホーム
24	橋口 文博	兵庫	特定非営利活動法人じゅうしん神戸
25	加留部貴行	福岡	九州大学

・運営委員会の開催 計 12 回

回	日 程	会 場	出 席
第 1 回	1 月 20 日 (日)	大阪ボランティア協会	8 人
第 2 回	2 月 17 日 (日)	東京ボランティア・市民活動センター	12 人
第 3 回	3 月 17 日 (日)	岐阜市生涯学習センター	11 人
第 4 回	4 月 20 日 (土)	大学生協杉並会館	16 人

第5回	5月19日（日）	龍谷大学大阪梅田キャンパス	12人
第6回	6月30日（日）	大学生協杉並会館	19人
第7回	7月20-21日（土・日）	サンバレー富士見（伊豆長岡）	21人
第8回	8月24日（土）	龍谷大学大阪梅田キャンパス	11人
第9回	9月16日（祝・月）	大学生協杉並会館	11人
第10回	10月27日（日）	龍谷大学大阪梅田キャンパス	12人
第11回	11月16日（日）	東京ボランティア・市民活動センター	16人
第12回	12月7日（日）	キャンパスプラザ京都	13人

②各種委員会の運営

各種事業の進行管理を担い、事業推進と組織運営への会員参加を進めるため、理事、運営委員、一般会員の参加で以下の委員会を設置し、推進した。

（活動実績は会議開催のみを掲載）

i) 研修開発委員会 …基礎研修や実務者研修等の調整、準備、実施、実務研修体系づくり

■メンバー：小原宗一、加留部貴行、筒井のり子、後藤麻理子 ⇒会議開催なし

ii) J V C C企画委員会 …全国ボランティアコーディネーター研究集会（JVCC）2019 運営への参加、JVCC2020 実行委員会への参加、JVCC2021 の開催地検討

■メンバー：杉浦 健、唐木理恵子、土崎雄祐、三田響子、椋木美緒、橋詰勝代

iii) 財政委員会 …財政シミュレーションと具体的な財源強化対策、予算の作成

■メンバー：早瀬 昇、鹿住貴之、土崎雄祐、阿部陽一郎

回	日 程	会 場
第1回	2月17日（日）	東京ボランティア・市民活動センター
第2回	6月30日（日）	大学生協杉並会館
第3回	9月16日（祝・月）	大学生協杉並会館
第4回	10月27日（日）	龍谷大学大阪梅田キャンパス
第5回	11月13日（水）	J V C A 事務所

iv) WEB 委員会 …J V C A 公式 facebook の運営、J V C A の W E B サイトの改善、メンテナンス

■メンバー：橋口文博、高橋義博、佐藤 匠

回	日 程	会 場
第1回	9月16日（祝・月）	大学生協杉並会館
第2回	10月24日（木）	スカイプ会議

v) 地域プロモーション委員会…エリアメイトとの協働、エリアアクションの実施、会員獲得のための戦略的なアプローチ

■メンバー：加留部貴行、熊谷紀良、疋田恵子、武藤祐子、佐藤匠、岩浪武司、栗原穂子、竹脇恵美、青山織衣、椎名保友、直井友樹、藤久保誠

回	日 程	会 場
第 1 回	4 月 20 日（土）	大学生協杉並会館
第 2 回	6 月 30 日（日）	大学生協杉並会館

③専門委員会の設置、運営

- i) 検定試験委員会（継続） ⇒事業の推進（3）に記載
- ii) 検定研修委員会（新設） ⇒事業の推進（6）に記載
- iii) グッドプラクティス認定システム化委員会（新設）⇒事業の推進（6）に記載

④プロジェクトチームの運営

- i) 検定合格者向けプロジェクトチーム 合格者向けメールマガジンの作成、発信 ⇒解散
- ii) 検定プロモーションプロジェクトチーム 検定事業の PR、3 級共催団体の獲得
（早瀬昇、鹿住貴之、清水由子、國實紗登美、藤久保誠）
⇒事業の推進（3）に取り組みを記載

回	日 程	会 場
第 1 回	10 月 27 日（日）	龍谷大学大阪梅田キャンパス
第 2 回	12 月 7 日（日）	キャンパスプラザ京都

- iii) JVCA20 周年記念事業たたき台作成プロジェクトチーム
（唐木理恵子、鹿住貴之、疋田恵子、後藤麻理子）

回	日 程	会 場
第 1 回	10 月 20 日（日）	東京ボランティア・市民活動センター

（5）認定特定非営利活動法人の更新申請および認定

2013 年 7 月の認定された有効期間が切れるため、3 月末に更新の申請を行った。9 月の東京都による現地確認および指摘事項の補正を経て、11 月 22 日付で再認定の通知を受け取った。

有効期間 2019 年 7 月 3 日～2024 年 7 月 2 日

（6）会員拡大および会員サービスの充実

①顧客・支援者データベースの運用

Salesforce により、登録者情報の一元化に努め、各種事業の案内を行った。

②会員拡大に関する取り組み

- ・検定合格者に対し、JVCC2020 参加と入会の案内を行った。
- ・主催研修ならびに講師派遣研修において会員勧誘のチラシを配布した。
- ・JVCC 実行委員に対する入会の声かけを行った。

③会費納入率の向上

2月の議案書送付時、広報紙送付時に納入依頼を行った。

④会員継続への働きかけの強化

2月の議案書送付時、広報紙送付時に納入依頼を行った。

⑤賛助会員（個人）の拡大

正会員の退会希望者にはできるだけ賛助会員への移行をお願いした。

（7）事務局運営の充実

①事務局担当理事の設置

②全国ボランティアコーディネーター研究集会 2020 東京事務局の設置

（8）財源の確保と財政運営

①会費収入の拡大

会員拡大策について財政委員会を中心に検討した。

②事業収益の拡大

3級の共催団体の開拓と検定受験者の確保に努めた。

③寄付者の拡大 ⇒12月よりキャンペーンを実施した。

④助成金、委託事業などの活用

・災害ボランティア・NPO 活動サポート募金（災害ボラサポ・台風19号）へ申請をした。

・gooddo への支援協力依頼

シェアや商品購入による寄付のみとなり、毎月の支援金は大きく支援金が減少した。

⑤「おサイフ通信」の発行 第11号（11月26日）

3

寄付者名簿

ご協力ありがとうございました

72 人の皆様からご寄付を頂戴いたしました。このうち 66 件が認定特定非営利活動法人の申請（更新）の際に要件となるパブリックサポートテスト（P S T）の対象になる寄付です。

心から御礼申し上げます。

※受領日順

本橋 亜衣	國實 紗登美	加留部 貴行
小嶺 仁	北出 真由美	正木 顕
佐伯 明彦	澤田 奈男	清水 誠
佐藤 茂雄	丹羽 史泰	山地 晴義
二見 令子	小森 義史	土崎 雄祐
長谷部 治	白井 稔男	椿 浩和
小野 智明	馬場 雄輔	疋田 恵子
江森 謙太郎	細井 知香	疋田 淑子
椋木 美緒	村上 直美	疋田 健
西川 正	小谷 広幸	
城 千聡	鈴木 孝芳	ほか匿名 5 件
唐木理恵子	染川 篤志	
赤石 千秋	山崎 智文	
筒井 のり子	海士 美雪	
後藤 麻理子	竹脇 恵美	
三田 響子	大澤 直子	
橋詰 勝代	鹿住 泰久	
高橋 義博	鹿住 貴之	
吉澤 道子	松本 貴久	
山口 由美子	岩下 広和	
相田 敬子	遠藤 沙穂里	
岩浪 武司	鹿住 珠江	
栗原 穂子	池 大祐	
寺田 美和子	熊澤 桂子	
熊谷 紀良	芝原 浩美	
穴見 千佳	武藤 祐子	
早瀬 智啓	福本 滋	
清水 由子	福本 久子	
妻鹿 ふみ子	福本 寅一	